３日本語のニュアンス練習帳（中村 明）

①（　Ａ　）が上がらない　　②（　Ｂ　）をかしげる　　③耳が痛い

④鼻が高い　　⑤（　Ｃ　）をはさむ　　　⑥（　Ｄ　）が立たない

⑦肩を並べる　　⑧胸がすく　　⑨（　Ｅ　）にすえかねる

⑩（　Ｆ　）が低い　　　⑪尻に火がつく　　⑫足をひっぱる

　いったい「［　Ⅰ　］」とはどういうものでしょうか。それはまず、単語の組み合わせが固定していて、「ちょっと①足を出す」とは言えても「足をちょっと出す」とは言えないように、それ全体で一つのことばのように働くものです。また、「足」「を」「出す」といった個々の要素の意味から導けない特別の意味、すなわち、「足を出す」全体で「支出が予算を超えてしまう」という意味を慣用的に表す場合を問題にしているのです。

問１　［　］Ⅰに入ることばを漢字三字で答えよ。

〔　　　 　〕

問２　――線部①が「全体で一つのことばのように働」いたときの意味を、文中から抜き出して答えよ。

〔　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　〕

問３　（　）Ａ～Ｆに入る身体部位の名称を漢字一字で答え、慣用句を完成させよ。（同じ字は二度使わない。）

Ａ＝〔　　　〕が上がらない

Ｂ＝〔　　　〕をかしげる

Ｃ＝〔　　　〕をはさむ

Ｄ＝〔　　　〕が立たない

Ｅ＝〔　　　〕にすえかねる

Ｆ＝〔　　　〕が低い

【解答】

問１　慣用句

問２　支出が予算を超えてしまう

問３　Ａ＝頭　Ｂ＝首　Ｃ＝口　Ｄ＝歯　Ｅ＝腹　Ｆ＝腰

ポイント

問３　Ａ 頭が上がらない＝対等にふるまえない。

　　Ｂ 首をかしげる＝納得できない気持ちだ。

　　Ｃ 口をはさむ＝横から割り込んで言う。

　　Ｄ 歯が立たない＝自分の力量ではかなわない。

　　Ｅ 腹にすえかねる＝怒りを抑えることができない。

　　Ｆ 腰が低い＝高ぶらず、謙虚だ。